

## 新年ご挨拶

公益社団法人 日本薬剤師会

会長 山本 信夫



新年明けましておめでとうございます。青森県薬剤師会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の進める諸事業に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。また昨年、風水害等により被災された方々には、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く、平常な生活を取り戻されますことを願うものであります。

さて、2020年に我が国で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されて以来、早くも3年が経過しました。急速な感染拡大により、社会・経済活動が停滞を余儀なくされる中で、地域の薬剤師・薬局は医療提供体制を医薬品提供の立場から支え続け、ワクチン接種の迅速化や、自宅で療養する患者等に対する治療薬の提供などに大きな力を発揮されました。さらに現在も、季節性インフルエンザとの同時流行に備え、検査キットや解熱鎮痛薬等の販売・相談対応をはじめ、医薬品提供体制の維持にご尽力されておられることに、心より厚く御礼申し上げますとともに、その心意気に敬意を表するものであります。

一方、電子処方箋やオンライン資格確認等あらゆる分野で進むDXに、薬局・薬剤師も例外なく対応せねばならず、薬剤師資格証（HPKIカード）は、その対応に不可欠な薬剤師資格を証明する手段となります。ご負担をお掛けいたしますが、速やかな資格証取得のための申請をお願いいたします。電子処方箋の運用を巡っては、厚生労働省において検討が重ねられ、モデル事業等で把握された課題を踏まえ、本年1月よりスタートします。その定着にはなお時間を要しますが、患者は勿論、医療現場に混乱を生じさせない「誰もが理解しやすい」仕組みとして活用できるよう、会員の皆様には都道府県薬剤師会・地域薬剤師会を通じて分かりやすくお知らせして参ります。

また、本年4月に予定されている中間年薬価改定の与える影響は、薬局経営や医薬品の供給体制など広範囲であることから、改定対象は「大幅な乖離のある品目」に限定し、薬局の経営状況等も勘案し実施の可否をも検討するよう要望しています。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰等による想定を超える薬局の経営状況の減衰を踏まえ、必要な財政支援を要望しているところです。

さらに、薬剤師・薬局に対する規制改革の圧力は、日増しにその強さを増しています。調剤業務の委受託、員数規制の緩和、専門家不在時のOTC薬販売など、薬剤師否定論にも似た無理難題を看過することなく、医療安全の確保や責任体制の明確化の視点から、今後とも薬剤師の必要性を主張して参ります。

今後も、山積する課題に果敢に取り組み、地域への医薬品提供を担う薬剤師・薬局がその責任・役割を果たせる環境づくりに向けて、覚悟と矜持を持って会務を進める所存です。

結びにあたり、青森県薬剤師会会員の皆様方にとって実り多い一年となりますよう祈念し、新年の挨拶といたします。